



教育方針から



家庭や地域にとってかけがえのない子どもたちが、のびのびと学べる学習環境づくり、そして子どもたちが自らの力で幸せな将来を生き抜いていくための確かな学力の定着に重点を置いた教育行政を推進していくことが大切だと考えています。

平成27年度は、総合教育会議の設置や子ども・子育て支援新制度など「新しい制度への着実な対応」を図るとともに、総合的な学力の向上や美里地域における義務教育学校の整備に向けた諸準備、学校施設の計画的な整備など「課題事項への前向きな取り組み」を進めてきました。平成28年度は、こうした教育施策をさらに一歩進めていくために、将来に向けて今取り組むべき重点的な施策の展開を図っていきます。

総合教育会議

市長と教育委員会がそれぞれの権限を組み合わせ、一緒になって子どもたちの未来を考える総合教育会議では、平成28年度中に市長が策定する「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」に向け、学校教育環境の整備などテーマごとに体系的な議論を積み重ね、これまで以上に市長と教育現場の絆を深めていきます。

総合的な学力の向上を目指して

- 平成32年度以降に全面実施が予定される次期学習指導要領の改訂を見据え、3年間の集中取組期間を設定し、体系的な「授業改善の仕組みづくり」に取り組みます。
- 全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックの結果分析から検証までの授業改善サイクルの確立を図ります。
- 指導主事が主要な教科を専任的に担当できる体制を整えながら、各校への訪問による校内研修への一層の支援・指導の拡充を図ります。
- 道徳教育の教科化に向け、カリキュラムや指導内容、指導方法の研究を進めるとともに、道徳教育と人権教育の両面から子どもたちの心を育む教育を推進します。



教育方針を述べる石川博之教育長

- 小学校における英語教育研修の促進と、ALTの授業力向上をねらいとした研修を拡充します。
- パソコンの通信ソフト(テレビ電話)を活用し、外国の小中学生との英会話の交流機会を創設します。
- 具体的な指導方法や効果的な実験・観察が行える理科室経営を各学校に提案し、小学校における理科教育の向上を図ります。
- 幼稚園と小中学校の教員を中心に「体力向上推進チーム」を設け、専門家の意見や高校の協力を得ながら体育科教育の指導を充実させます。

適正な学習環境の確保を目指して

- 各校に配置する津市臨時講師のうち「課題対応講師」の配置時間数を見直すことにより、「**学力推進講師**」を増員します。